

世論と運動で危険な流れを止めよう

# 日本政府は核兵器禁止条約へ参加を

## 核兵器の使用に踏み込む 米トランプ政権



今年2月2日、アメリカ・トランプ政権は新しい「核態勢見直し(NPR)」を発表し、自らの核政策を示しました。核兵器使用に深くふみこみ、軍備拡張をめざす危険なものです。わたしたちは、これへの抗議文を米国政府に送りました。

NPRでは、核兵器が「安全に必要」と正当化し、必要な場合には先に使うことさえ可能にしました。ヒロシマやナガサキの惨禍をふたたび繰り返しかねません。

さらに、アメリカの核軍備の維持・強化をも打ち出しています。これでは、さらなる核軍備競争を引き起こしてしまいます。アメリカは、核兵器を使うと、世界を脅かし続ける政策をやめ、核兵器禁止条約の参加へ誠実に行動すべきです。

## 対米追隨をやめ、 被爆国の責務を果たすべき

日本政府は、この危険なNPRを「高く評価」(河野外相談話)しました。被爆国の政府にあるまじき態度です。

米トランプ政権は、潜水艦から発射できる核巡航ミサイルなど「使いやすい」小型核兵器の配備を進めようとしています。日米の核持ち込み密約が廃棄されていないもと、核を積んだ米艦船が日本に寄港する危険も高まります。非核三原則が踏みこじられる可能性があります。

アメリカの「核の傘」の下にいたために、北朝鮮の核・ミサイル開発を招くなど、軍事的緊張を高めただけでした。日本は「核の傘」からすみやかに離脱し、核兵器禁止条約に加わり、核兵器のないアジアや世界をつくる先頭に立つべきです。ぜひ、禁止条約の締結をすべての国にもとめる「バクシヤ国際署名」にご協力をお願いします。(2018.3.6)

核兵器のあらゆる面を禁止



国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

Tel:03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>